

2015年3月期 決算説明会 主な質疑応答（要旨）

1. FY15の見通しについて

Q1. 現在の燃油市況を踏まえても減益となる根拠は？

A1. 燃油市況が下がっても、燃油サーチャージの引下げやヘッジ損益等により減益となります。また為替についても円安進行により減益要因となるため、増収施策や費用の抑制をある程度加味しても、計画上は70億円程度の減益の営業利益1,720億円となっております。

Q2. FY15の計画では減収減益であるが、足元の予約状況等を踏まえて、見通しはどうか？

A2. 足元は国際・国内共に想定以上に需要が強いため、FY15年度は是非とも前年対比で増収増益を目指して行きたい、と考えております。

2. 路便計画について

Q. 中期経営計画ローリングプランから変更になっている点があれば教えてください。

A. 2月の発表時から計画の前提から変更になった点はありません。なお足元の状況は、計画に対して順調に進捗しています。

3. 株主還元について

Q. 今回配当性向が25%に引き上げられたが、更に引き上げる目途はあるか？

A. 当期の配当については、当期の業績や財務状況、今後の経営環境を総合的に勘案して連結当期純利益から法人税等調整額の影響を除いた額の25%程度を株主の皆様への配当に充てる方針へと変更しました。財務基盤の強化については、着実に進捗しており、その客観的な指標として、日本の格付機関から「シングル A マイナス」という格付を頂きました。今後は、「シングル A フラット」の取得及びその維持を目指し、財務基盤強化の進捗状況やフリーキャッシュフローの状況をみて、引き続き株主還元の拡充を検討して行きたい、と考えております。